

## 公益社団法人日本地震工学会 第46回理事会議事録

**A.日時：**2020年6月25日(木) 16時00分～19時15分

**B.場所：**ZOOMによるオンライン会議

**C.出席者：**(会長) 中埜良昭, (副会長) 山中浩明, 秋山充良

(担当理事) 徳光亮一, 米澤健次, 松岡太一, 樋口俊一, 隈本邦彦, 久保智弘, 永野正行, 小檜山雅之, 丸山喜久, 肥田剛典

(監事) 久田嘉章, 三輪 滋

欠席：(副会長) 山田哲, (担当理事) 清田 隆, 松島信一

オブザーバ出席：目黒公郎, 小松康典事務局長, 戸田薫子事務局員

**D.議題および提出資料：**

### 議題：

- |                             |          |
|-----------------------------|----------|
| 1) 役員の自己紹介(全員)              | 資料 46-01 |
| 2) 今年度理事会体制と役員の分掌(徳光理事)     | 資料 46-02 |
| 3) 今年度の理事会の進め方および年間予定(徳光理事) | 資料 46-03 |

### 報告事項：

- |                               |          |
|-------------------------------|----------|
| 1) 第45回理事会議事録(案)確認(徳光理事)      | 資料 46-04 |
| 2) 第8回社員総会議事録(案)確認(徳光理事)      | 資料 46-05 |
| 3) 臨時理事会議事録(案)確認(徳光理事)        | 資料 46-06 |
| 4) 令和2年度事業計画(徳光理事)            | 資料 46-07 |
| 5) 令和2年度予算(松岡理事)              | 資料 46-08 |
| 6) 会務報告(徳光理事)                 | 資料 46-09 |
| 7) 会計報告(松岡理事)                 | 資料 46-10 |
| 8) 総務部会からの報告(徳光理事)            | 資料 46-11 |
| 9) 広報部会からの報告(隈本理事)            | 資料 46-12 |
| 10) 情報コミュニケーション委員会からの報告(久保理事) | 資料 46-13 |
| 11) 会誌編集委員会からの報告(永野理事)        | 資料 46-14 |
| 12) 論文集編集委員会からの報告(小檜山理事)      | 資料 46-16 |
| 13) 事業企画委員会(企画)からの報告(丸山理事)    | 資料 46-17 |
| 14) 17WCEE 運営委員会からの報告(中埜会長)   | 資料 46-18 |
| 15) 2020年度大会に関する報告(秋山副会長)     | (資料なし)   |
| 16) 将来構想委員会からの報告(山中副会長)       | 資料 46-20 |

### 議案：

- |                     |          |
|---------------------|----------|
| 第1号 入退会者(米澤理事)      | 資料 46-21 |
| 第2号 委員会委員の委嘱(徳光理事)  | 資料 46-22 |
| 第3号 共催・後援・協賛等(徳光理事) | 資料 46-23 |

### 懇談事項：

- |                          |          |
|--------------------------|----------|
| 1) 創立20周年記念事業について(秋山副会長) | 資料 46-24 |
| 2) 今後の予定について(徳光理事)       | 資料 46-25 |

## E.議事録：

### 議題

#### 1) 役員の自己紹介

- ・ 出席役員の自己紹介および資料 46-01 に基づいて名簿の確認が行われた。

#### 2) 今年度理事会体制と役員の分掌

- ・ 徳光理事より資料 46-02 に基づいて理事会体制と役員の分掌の説明がなされ、異議なく承認された。

#### 3) 今年度の理事会の進め方および年間予定

- ・ 徳光理事より資料 46-03 に基づいて今年度の理事会の日程、進め方、その他の行事予定の説明がなされた。
- ・ 昨今の社会情勢を勘案し、オンラインの活用など臨機応変に対応を考える必要があるなどの意見があった。

### 報告事項

#### 1) 第 45 回理事会議事録（案）確認（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 46-04 に基づいて第 45 回理事会議事録の説明が行われた。

#### 2) 第 8 回社員総会議事録（案）確認（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 46-05 に基づいて第 8 回社員総会議事録（案）の説明が行われた。
- ・ 事業計画・予算計画については年度末に内閣府に出した資料に基づいて説明されているが、当時は 17WCEE の延期が決まっていなかったため、この中には 17WCEE を開催するとあるが、実際には 17WCEE を延期した形で事業を進めていく。

#### 3) 臨時理事会議事録（案）確認（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 46-06 に基づいて臨時理事会議事録（案）の説明が行われ、異議なく承認された。

#### 4) 令和 2 年度事業計画（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 46-07 に基づいて本年度の事業計画について説明がなされた。
- ・ 資料 46-00 の議事次第の「令和元年」は「令和 2 年」に修正。
- ・ 研究発表会の開催については、今年 3 月にまとめたものであるため、17WCEE を今年度開催する前提で記載されている。時期を遅らせることについては変更はないが、規模や形式については今後、計画を立てる。
- ・ 昨今の社会情勢を勘案し、オンラインの活用など臨機応変に対応を考える必要がある。

#### 5) 令和 2 年度予算（松岡理事）

- ・ 松岡理事より資料 46-08 に基づいて本年度の予算について説明がなされた。
- ・ 資料 46-00 の議事次第の「令和元年」は「令和 2 年」に修正。

#### 6) 会務報告（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 46-09 に基づいて会務報告の説明がなされ、異議なく承認された。

#### 7) 会計報告（松岡理事）

- ・ 松岡理事より資料 46-10 に基づいて会計報告の説明がなされ、異議なく承認された。
- ・ 17WCEE で寄付金を頂いたとあるが、延期に伴いその寄付金はどのような扱いになるのか？との質問があった。その質問に対して用途が限定されるため、特定資産として計上し、17WCEE で使う目的であることを明確にして、会計上は来年度に引き継ぐ形になるとの回答があった。

#### 8) 総務部会からの報告（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 46-11 に基づいて総務部会および理事会の引き継ぎ事項について説明がなされた。

- ・ 小松事務局長が今年度末で退任されるため、後任を募集する。学会運営などの経験がある方をご存じの方は総務担当に紹介されたい。
- ・ 事務局のテレワーク環境については、郵務があるため、適宜、出社する必要があるが、それ以外は、在宅でも対応は可能である。ただし、電話対応に問題が残る。
- ・ 社員総会の出欠 WEB に議決権行使書もあった方が良いとの意見に対して、議決権行使の場合には必要な資料が手元にあることが定款に定められており、郵送で事前に資料を送付する必要がある。議決権行使を単純にチェックすれば良いというわけではないことに課題があるなどの議論があった。他の学会の事例を調査することや、総会の方法については内閣府から負担のない方法の指示がある可能性があるなどの意見もあった。

#### 9) 広報部会からの報告（隈本理事）

- ・ 隈本理事より資料 46-12 に基づいて広報部会の活動について説明がなされた。
- ・ 17WCEE は会場が確保できるタイミングから 2021 年 9 月 27 日～10 月 2 日になった。

#### 10) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事）

- ・ 久保理事より資料 46-13 に基づいて、JAEЕ News の巻頭言の執筆スケジュールや前回理事会以降の活動について説明がなされた。
- ・ メキシコ地震について地震情報ページに乗せるか否かについて質疑があり、関連するリンクをはる方向で記載することになった。清田理事に確認してもらうことにした。
- ・ アーカイブ化について、地震工学シンポジウムなどの資料をお持ちの方は担当理事に連絡すること。
- ・ 三輪監事より第 3,6,8,10 回の資料については、提供できるか検討しているとの報告があった。
- ・ 無料でオープンする資料、有料でオープンする資料の線引きについて検討する必要がある。例えば、会員だけが見られるなどの方法もある。

#### 11) 会誌編集委員会からの報告（永野理事）

- ・ 永野理事より資料 46-14 に基づいて、委員会の開催状況、会誌の内容説明および編集スケジュール、JAEЕ 会員動向について説明が行われた。審議事項として、(1)メール送付による日本地震工学会会誌読者アンケート実施の可否、内容の議論。(2)メール送付による若手地震工学者アンケート実施の可否、内容の議論。(3)将来構想委員会による若手懇談会の開催について（2020 年 8 月までに開催できれば会誌への掲載が可能）の 3 件が挙げられた。
- ・ 審議事項(1)(2)のメール送付については、学会のメールアドレスリストの使用を含めて、承認された。
- ・ アンケートは毎回やるのか？との質問があり、まずトライアルとして今回やってみることとし、その後、続けられる仕組みを考える、そのために質問内容も少し変更するとの回答があった。
- ・ 編集委員長の方針はあるのか？との質問があり、読んでもらうことを第一に考え、会員にとって有益な内容を掲載する方針としているとの回答があった。
- ・ 若手会員懇談会については、対面では難しいので Zoom での開催となる。前回と同じことをしても意味がない、将来の学会はどうあるべきかなどを議論して、どのようなことを調査すべきか、中堅層を集め委員会を作って議論した方が良いのではないかと、との意見があった。
- ・ 若手会員懇談会の代わりに、8 月初旬に予定される若手の検討委員会を会誌で取り上げたい。

#### 12) 論文集編集委員会からの報告（小檜山理事）

- ・ 小檜山理事より資料 46-16 に基づいて、委員会の構成、活動状況および査読者情報の漏洩事案について説明がなされ、今後の対応案についての審議事項が議論された。
- ・ システム的にファイルのプロパティが消されるようにし、かつ、編集委員と幹事会でダブルチェックをかける対応案に対して承認が得られた。

- ・ 査読の遅れに対する対応案はどうするのか？との質問があった。今回、論文審査が長引いたのは、査読者が査読期限を守れなかったことと修正のリクエストを繰り返してしまったことが理由であった。期限が守られない場合は査読者の交代を積極的に行うことを編集委員会にて呼び掛けるとの回答があった。
- ・ 査読の迅速化を図るようご検討いただきたいとの要望があった。
- ・ 例えば、査読1回目で指摘しなかったことを2回目で指摘するなど、前の査読で指摘しなかったことを後の査読で指摘するのは御法度とするべきだとの意見もあった。
- ・ 修正のリクエストは回数を限った方が良いとの意見もあった。修正のリクエストを繰り返すと不公平になる可能性がある。
- ・ 以上の意見を踏まえて、今後の迅速な査読に向けて編集委員会で情報共有し対応を検討するとの回答があった。

#### 13) 事業企画委員会（企画）からの報告（丸山理事）

- ・ 丸山理事より資料46-17に基づいて、2019年度の事業企画予定について報告がなされた。
- ・ 福島第一の見学会も考えていただきたいとの意見があった。
- ・ 肥田理事を理論応用力学コンソーシアムの委員とすることについて承認された。当面は正員ではなく協力員とする。

#### 14) 17WCEE 運営委員会からの報告（中笠会長）

- ・ 中笠会長より資料46-18に基づき、17WCEEの状況について報告があった。以下の説明および議論があった。
- ・ 2021年9月27日～10月2日に開催することが決まった。
- ・ 論文投稿については、proceedingsは9月に発刊され、会議参加資格もそのまま保持される。
- ・ 会議に直接参加できない発表者に対してもインターネットを活用して参加できるようにする。
- ・ 1年延びたことにより、追加の論文を投稿できるようにする。追加の論文と新規の論文に関しては、すでにこれまで投稿した方には、トータル3編まで認める（1編30000円）。時間切れで投稿できなかった方には、エンカレッジして参加していただくよう呼びかける。
- ・ すでに開催準備のために費用がかかっており、延期のための費用等も発生するため、返金はできるだけ避けたい。赤字にならないために、追加・新規の論文を募り、更なる協賛を求めることで対応したい。

#### 15) 2020年度大会に関する報告（秋山副会長代理報告）

- ・ 秋山副会長より2020年度大会に関する報告がなされた。以下の議論があった。
- ・ 12月を目途にオンライン開催の可能性について検討する。
- ・ 審議事項として、条件を詰めて実施可能と判断した場合、メール審議を経て、次回の理事会を待たず、年次大会の開催実施要項を挙げることについてご理解を頂きたい。オンラインでの開催の是非も含めて議論いただきたい。
- ・ オンライン開催の方針を進めることに対して承認が得られた。日程については、会場確保の必要がないので、他の行事の日程も勘案し、少しずらしても良いので、リスケジュールも含めて検討すること。オンラインで開催する場合、表彰式などをどうするかも検討されたい。
- ・ 基本的にはオンライン開催で配信し、具体化を考える。開催の時期、収支のバランス、技術的なサポート体制も含めて、議論していただき、具体化した時にはメール審議ではかることで進めることとする。

#### 16) 将来構想委員会からの報告（山中副会長）

- ・ 山中副会長より資料46-20に基づいて、若手中堅交流会について説明がなされた。以下の議論があった。

- ・ 今後、中堅の方を将来構想委員会に入れて、継続的に意欲的に活動をしていただくことについて承認された。人選をして若手を含めた将来構想委員会を行っていききたい。
- ・ 若手の人選が決まれば、次回の理事会を待たずメール審議等でご了解を頂き、委員会を進める。
- ・ 第1回は8月初旬を考えている。

## 議案

### 第1号 入退会者（米澤理事）

- ・ 米澤理事より資料46-21に基づいて入退会者の報告がなされた。入会者として正会員4名、学生会員1名について異議なく承認された。また退会者として正会員1名、学生会員1名について異議なく承認された。逝去者として太田外氣晴先生がお亡くなりになったことや資格停止者として正会員8名、学生会員11名について報告がなされた。
- ・ 入会案内の資料について、現状に踏まえ情報が古くなっている箇所等を修正することについて説明がなされた。理事各位で確認していただき、気づいた点や修正点を7月3日までに連絡をすることとなった。
- ・ 学生の会員が少ない現状が続いているため、呼びかけをされたい。

### 第2号 委員会委員の委嘱（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料46-22に基づいて委員会委員の委嘱の説明がなされた。
- ・ 委員会委員の名簿において大会実行委員会で、松島理事が委員長であるが、他のメンバーが決まっていなので、決まり次第報告する。
- ・ 外部委員会のうち、理論応用力学後援会コンタクト委員は肥田理事に、防災連携委員は樋口理事が就任することについて承認された。

### 第3号 共催・後援・協賛等（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料46-23に基づいて共催1件の名義使用依頼が報告され、異議なく承認された。

## 懇談事項

### 1) 創立20周年記念事業について（秋山副会長、丸山理事）

- ・ 秋山副会長・丸山理事より資料46-24に基づき、創立20周年記念行事の進捗について説明があった。来年の5月25日に建築会館で開催する。今後の進め方としては、行事計画を事業企画委員会で案を出す。懇親会の会場は、建築会館付近のレストランを考えている。通常の総会のように懇親会を建築会館で開催する案も視野に入れている。

### 2) 今後の予定について（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料46-25に基づいて2020年、2021年度の活動計画について説明がなされた。
- ・ コロナ禍で予定通りにいかない可能性があるが、現状の計画として参考にしていただきたい。

次回予定：第47回理事会 令和2年8月6日（木）16時～19時

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和2年 7月 7日

議長 中 埜 良 昭

監事 久 田 嘉 章

監事 三 輪 滋